

## 日本気象協会 2022年 春の花粉飛散予測(第2報) ～スギ花粉シーズンのスタートは例年並み 早い所では2月上旬から～

### ◆2022年 春の花粉飛散予測のポイント(2021年12月9日 発表)

- ・スギ花粉の飛び始めは全国的に例年並み
- ・飛散量は九州から関東甲信で例年並みか少ないが、東北と北海道は例年より多い
- ・東海から北海道は前シーズン(2021年春)と比べると飛散量が多い

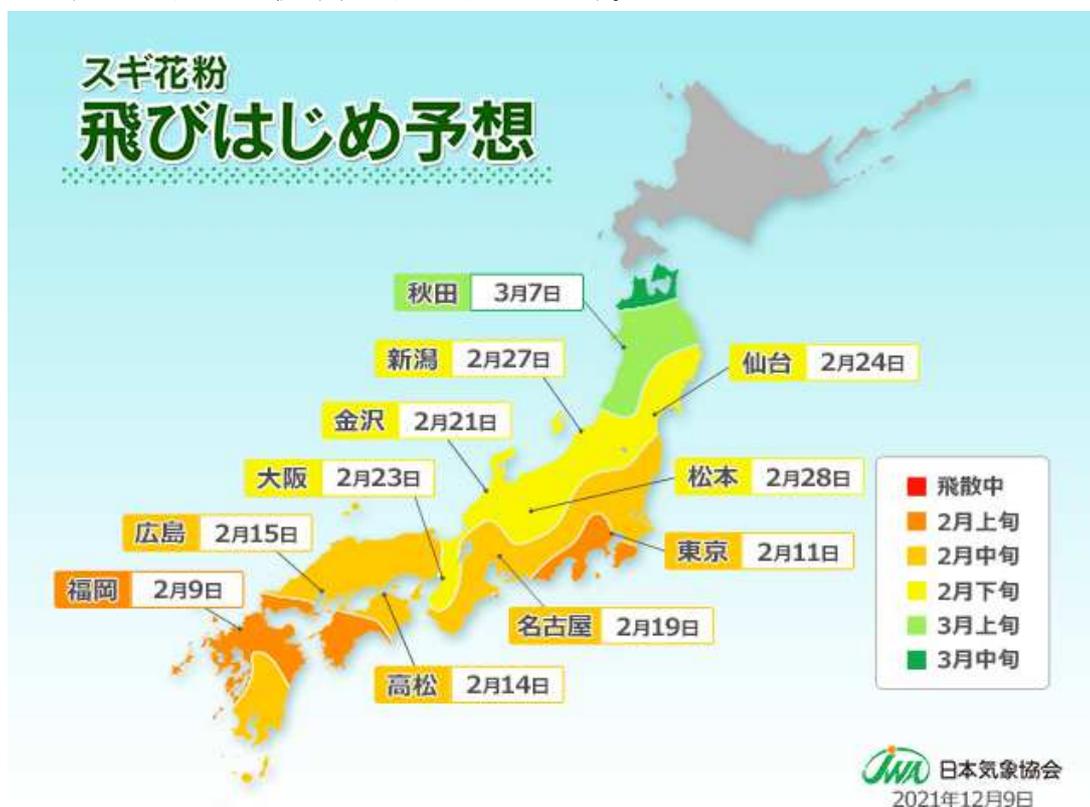
一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:長田 太)は、2021年12月9日(木)に全国・都道府県別の2022年春の花粉(スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ)飛散予測(第2報)を発表します。また、詳細な情報を、「2022年春の花粉総飛散量 予測資料」として販売します。

### 1. スギ花粉の飛散開始時期

スギ花粉の飛散開始※は、九州から東北まで例年並みとなるでしょう。2月上旬に九州や四国、中国、東海、関東の一部から花粉シーズンがスタートする見込みです。

2022年の1月、2月は西日本や東日本、北日本の平均気温は平年並みか低いでしょう。冬らしい寒さにより休眠打破が順調に行われて、スギ花粉の飛散開始は各地で例年並みとなる見通しです。

スギ花粉は、飛散開始と認められる前からわずかな量が飛び始めます。2月上旬に飛散開始が予測される地域では、1月のうちから早めに花粉対策を始めるとよいでしょう。



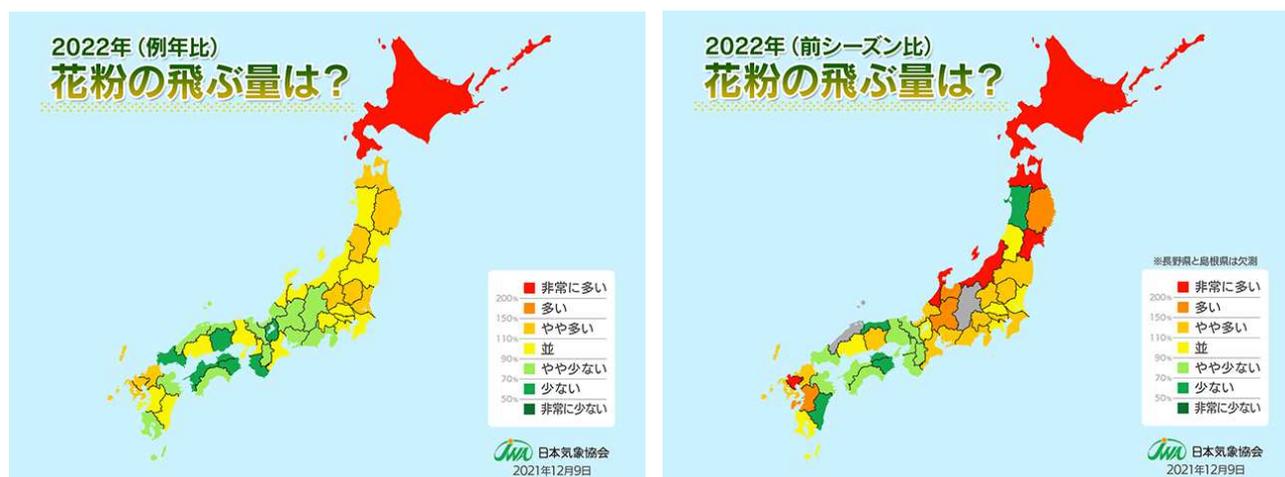
※飛散開始日

1平方センチメートルあたり1個以上のスギ花粉を2日連続して観測した場合の最初の日

## 2. 2022年シーズンの花粉飛散傾向

2022年春の花粉飛散予測は、九州や北陸、関東甲信では例年並み、四国、中国、近畿、東海では例年より少ない見込みです。一方、東北は例年よりやや多く、北海道は例年より非常に多いでしょう。

九州は地域差が大きく、四国、中国、近畿は前シーズンより飛散量は少ない見込みです。一方、東海から北海道は前シーズンより多く、特に北陸や東北、北海道では非常に多く飛ぶ所もあるでしょう。前シーズンは症状が弱かった方も万全な花粉症対策が必要になりそうです。



## 3. 各地域の花粉飛散傾向

地方	飛散量				2021年夏の気象		
	例年比	地方平均値	前シーズン比	地方平均値	気温	降水量	日照時間
北海道	非常に多い	220%	非常に多い	310%	かなり高い	かなり少ない	かなり多い
東北	やや多い	110%	やや多い	120%	かなり高い	平年並	多い
関東甲信	例年並	100%	やや多い	120%	高い	かなり多い	平年並
北陸	例年並	90%	多い	170%	高い	平年並	多い
東海	やや少ない	80%	やや多い	130%	高い	多い	平年並
近畿	やや少ない	70%	やや少ない	70%	平年並	かなり多い	平年並
中国	やや少ない	70%	やや少ない	80%	平年並	かなり多い	平年並
四国	少ない	60%	やや少ない	70%	低い	多い	平年並
九州	例年並	90%	前シーズン並	100%	平年並	多い	平年並

#### 4. 飛散量の予測根拠

花粉の飛散量は前年夏の気象条件が大きく影響します。気温が高く、日照時間が多く、雨の少ない夏は花芽が多く形成され、翌春の飛散量が多くなるといわれています。

2021年の夏は、7月に東日本太平洋側では梅雨前線の影響で大雨となりました。降水量が多くなり、大規模な土砂災害が発生したところもありました。西日本は上旬を中心に暖かい空気が流れ込んだため、気温は高くなりました。

8月は、上旬の中頃までは全国的に太平洋高気圧に覆われて晴れたところが多く、そのあと、本州付近は高気圧の谷間となり前線が停滞したため、東・西日本では雨の日が続きました。西日本では線状降水帯も発生して各地で大雨を記録し、8月の降水量はかなり多くなりました。

予測根拠として、日本気象協会ではスギ林での花芽の着花状況の調査も行っています。同じスギ林の中でも着花している木と、それほどでもない木の差が激しい地点もあり、全体的に花芽が大量着花しているとは言えない状況です。



岐阜県関ヶ原  
11月18日撮影（中部支社）



京都市西京区  
11月24日撮影（関西支社）



千葉県富里市  
11月29日撮影（本社）

#### 5. スギ花粉のライフサイクル

スギ花粉は1年間を通じて、生長・形成・開花を経て、花粉を飛散します。飛散した花粉からまた生長が始まります。





#### 【花粉の種類について】

北海道はシラカバ、その他はスギ・ヒノキ花粉の飛散量を表します。

#### 【飛散量に関する言葉の説明】

非常に多い	:前シーズン (例年)の 200%以上
多い	:前シーズン (例年)の 150%以上 200%未満
やや多い	:前シーズン (例年)の 110%以上 150%未満
前シーズン(例年)並	:前シーズン (例年)の 90%以上 110%未満
やや少ない	:前シーズン (例年)の 70%以上 90%未満
少ない	:前シーズン (例年)の 50%以上 70%未満
非常に少ない	:前シーズン (例年)の 50%未満

---

前シーズン	:2021 年シーズン飛散量
例年	:過去 10 年(2012～2021 年)の平均値

#### 【2021 年夏の気象に関する言葉の説明】

平年	:1991～2020 年の平均値
----	------------------

#### ◆日本気象協会の花粉飛散予測とは

日本気象協会は 1990 年からスギ花粉の飛散予測を発表しています。日本気象協会の花粉飛散予測は、前シーズンの花粉飛散結果や今後の気温予測などの気象データをもとに、全国各地の花粉研究会や協力機関からの情報、花芽の現地調査の結果などをふまえて予測しています。

※本情報の無断での法人利用(プレスリリースでの引用や販促目的使用など)はご遠慮いただいております。

商品 PR など法人利用をご検討の際はお問合せフォーム(<https://www.jwa.or.jp/contact/>)からご連絡をお願いします。